

---

## 曲目紹介

---

### ● ベートーヴェン ピアノ三重奏曲 第5番 ニ長調 作品70-1 「幽霊」

「幽霊 Geister」という愛称（とは言えませんね）の由来には諸説あり、確定していません。  
その1：第2楽章の幽玄（あるいは陰鬱、とらえがたいなど評者により様々な形容があります）な楽想から。

その2：ベートーヴェンがシェイクスピアの『マクベス』をオペラ化しようとしていて、そのイメージが第2楽章に表れている。

その3：ベートーヴェンの弟子でもあったチェルニーが、第2楽章のことをシェイクスピアの「ハムレット」における幽霊の最初の出現を思い起こさせると書いたことから。

ベートーヴェン（1770-1827）の番号の付いたピアノ三重奏曲は11曲（有名な大公トリオは第7番）あり、この5番が作られたのは1808年です。この年には交響曲第5番、6番が初演され、翌1809年にはピアノ協奏曲第5番「皇帝」が初演されるなど充実した作品が生み出されていた時代ですが、その割にはこのトリオは軽い感じの曲です。（特に第3楽章）

世界史的には1805年にナポレオンがウィーン（ベートーヴェンが住んでいました）を占領、1806年には9世紀から続いていた神聖ローマ帝国が消滅し、神聖ローマ帝国のフランツ2世が退位し、新たにオーストリア皇帝フランツ1世となるなど波乱の時代です。

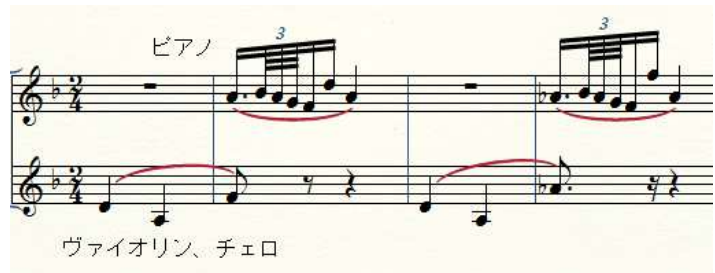
第一楽章 Allegro vivace con brio ニ長調 4分の3拍子

冒頭のテーマ



第二楽章 Largo assai ed espressivo ニ短調 4分の2拍子

ヴァイオリンとチェロの  
4分音符が相当ゆっくり  
です。



第三楽章 Presto ニ長調 2分の2拍子

演奏時間は約28分。

### ● シューマン ピアノ三重奏曲 第3番 ト短調 作品110

聞いてすぐシューマンと分かる曲です。シューマンを得意とする漆原、伊藤さんにはぴったりの選曲です。シューマン（1810-1856）のピアノ三重奏曲は3曲あり、この第3番は1851年の作品で、交響曲第3番「ライン」も同じ年に初演されています。

世界史的にはナポレオン没落後の1815年に始まったドイツ連邦が1948年の3月革命（フランスの2月革命の影響）でいったん消え、復活したのが1851年です。隣のフランスでは

ナポレオン3世のクーデターがあり1852年から帝政が始まるといったやはり動乱の時代です。

各楽章の速度表示は通常のイタリア語（アレグロなど）ではなく、ドイツ語で表示されています。

第一楽章 *Bewegt, doch nicht zu rasch*（流動して、しかし速すぎず） ト短調 8分の6拍子

冒頭のテーマ



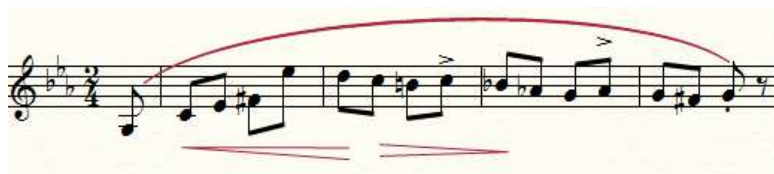
2小節目の動きがすこぶるシューマン的です。

第二楽章 *Ziemlich langsam*（かなり遅く） 変ホ長調 8分の12拍子

第三楽章 *Rasch*（速く） ハ短調 4分の2拍子

2拍子のスケルツォ楽章です。

ややこしい位置のアクセントのため  
拍子がずれて聞こえます。



第四楽章 *Kraefting, mit Humor*（力強く、フモールをもって） ト長調 4分の4拍子

演奏時間は約25分。

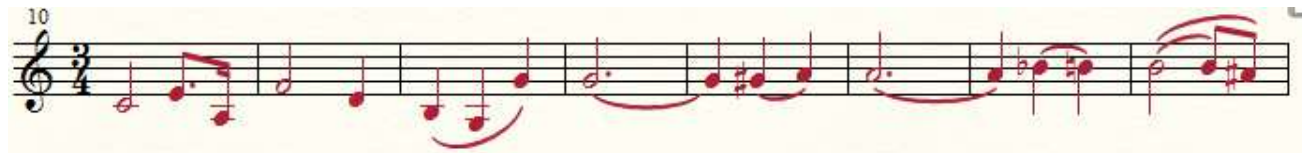
### ●ブラームス ピアノ三重奏曲 第2番 ハ長調 作品87

ブラームス（1833-1897）にはピアノ三重奏曲が3曲（第1番には第1作と改作の2種類が存在）あり、この第2番は1886年の作品です。交響曲第4番（1885）、ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲（1887）など最後の大作が発表されていた時代です。

世界史的には普仏戦争後の1871年に成立したドイツ帝国でビスマルクが独裁権力をふるい、アフリカに植民地を獲得していった膨張政策の時代です。

第1楽章のテーマで明らかなように平明で簡潔な様式で書かれており、ブラームスの名前から予想されるような情熱、深みは薄く感じられます。

第一楽章 *Allegro* ハ長調 4分の3拍子



第二楽章 *Andante con moto* イ短調 4分の2拍子

分かりやすい主題による  
変奏曲です。



第三楽章 *Scherzo (Presto)* ハ短調 8分の6拍子

第四楽章 *Finale (Allegro giocoso)* ハ長調 4分の4拍子

演奏時間は約32分。